

講座概要

滋賀大学では、履修証明プログラムとして「気象データアナリスト育成講座」を開講しています。本講座では、気象データの解析スキルを統計・AI・ビジネスと結びつけ、実践的に活用できる人材を育成することを目的としています。

「気象データアナリスト」（登録商標第 6450756 号）とは、企業におけるビジネス創出や課題解決ができるよう、気象データの知識とデータ分析の知識を兼ね備え、気象データとビジネスデータを分析できる人材です。

本講座では、観測・予報データなどの実データを活用しながら、分析力・提案力・判断力をバランスよく養います。全 5 科目・各 22.5 時間の専門的なカリキュラムで、統計や AI の基礎から、気象情報に関する知識とデータ活用の実践まで、幅広い力を身につけます。

- 気象データの収集・解析・可視化・予測の実践力
- R・Python を用いたプログラミングスキル
- 統計・機械学習の知識とその適用力
- 気象情報を社会・ビジネス課題に応用する力
- 分析結果に基づく報告書・提案書の作成スキル

滋賀大学データサイエンス学部の教員が中心となり、気象学、統計学、AI、ビジネス分野に精通した専門家が講義を担当します。第一線の研究・実務に基づく指導を行います。

受講生として以下のような方々を対象としています。

- 気象データを業務で活用したい自治体・企業担当者
- 統計や AI を気象に応用したい研究者・学生
- 気象データに基づいた提案や判断力を高めたい方

本講座は経済産業省・第四次産業革命スキル習得講座および気象庁・気象データアナリスト育成講座の認定を受けています。本講座を修了した方には、本学講座修了証と第四次産業革命スキル習得講座修了証をお渡しいたします。

2026 年度の講座概要案内

開講時期：2026 年度 秋学期（2026 年 10 月 1 日開始）から 1 年間

開講場所：滋賀大学彦根キャンパス（対面必須科目あり）

受講費用：35 万円

募集期間：2026 年 8 月 3 日～8 月 21 日

申込方法：こちらの募集要項を利用して記載内容に従い、応募してください。

https://www.shiga-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/weatherdataanalyst_bosyu2026a.pdf

なお、受講にあたっては、以下の要件および注意事項があります。

- 1 年間を通じて全ての講座を受講できること。ただし、1 年間で修了できなかった場合は、翌年 1 年間に限り継続して受講可能とします
- 本講座の科目のうち、「AI・機械学習入門」については、滋賀大学彦根キャンパスでの対面受講が必要です。また、「統計数学」についてはオンライン受講可能だが、中間試験および期末試験の 2 回、大学で対面の受験が必要となります。
- セキュリティが担保された自身で所有するパソコンを用意できること。
- 本講座はデータサイエンス学部の課程科目を活用しており、学部生と合同での受講となります。

お問い合わせ先

滋賀大学 研究・産学連携推進課産学公連携推進係

〒522-8522 彦根市馬場一丁目 1-1

E-mail：soc-coop@biwako.shiga-u.ac.jp

講座の内容

講座を構成するのは以下の滋賀大学データサイエンス学部の科目です。それぞれ1コマ1.5時間の15回で完了します。各科目の授業計画、成績評価の方法などの詳細は、シラバス検索 (<https://www.shiga-u.ac.jp/life/courses/syllabus/>) でご確認ください。

講座の構成科目（全5科目）

科目名	内容概要	主な学習テーマ	使用ツール
気象データ入門	気象現象の基礎と気象データの種類・特性を学び、実務での活用を想定したレポートを作成します。	気象要素・観測と予報・気候変動・数値予報・気象業務法など	計算問題 毎回の小テスト
気候・気象データ分析	実際の観測・予報データを用い、気象データの特性や可視化・解析・予測手法を実践的に学びます。分析レポートを作成します。	面的・時系列データ解析、多変量解析、ビジネス課題設定と分析提案書の作成	Python、R
統計数学	統計手法の背景となる数理を学び、正しい適用と結果の解釈力を養成します。	確率分布、標本分布、仮説検定、分散分析など	講義内で数式中心
多変量解析入門	代表的な多変量解析手法とその適用方法を学び、データの特徴を自ら読み取れる力を養います。	回帰分析、判別分析、クラスターリング、主成分分析など	R
AI・機械学習入門	回帰・分類・クラスターリングなど機械学習の基本と、AIプロジェクトの進め方を学びます。	教師あり機械学習（回帰、分類）、過学習、評価指標、教師なし機械学習	講義中心 デモプログラムにPythonを使用

時間割

2026年度の時間割は、春学期に「気候・気象データ分析」（火曜1限）、「統計数学」（金曜3限）、「多変量解析入門」（金曜5限）、秋学期に「気象データ入門」（月曜2限）、「AI・機械学習入門」（月曜5限）となっています。ただし、年によって変動があることにご注意ください。

2026年度の時間割（緑字：春学期、赤字：秋学期）

背景が黄色の科目は対面での受講（「統計数学」は一部）が必須となります。

時間	月	火	水	木	金
8:50～ 10:20		気候・気象 データ分析			
10:30～ 12:00	気象データ 入門				
12:50～ 14:20					統計数学
14:30～ 16:00					
16:10～ 17:40	AI・機械学習 入門				多変量解析 入門

学習の進め方

滋賀大学では教室での学びに加え、以下の3つのサポートシステムを利用して、学習を行います。

- 滋賀大学キャンパス教育支援システム（SUCCESS）
- 滋賀大学学習管理システム（SULMS）
- Microsoft365

- ・ SUCCESSでは、履修している講義の休講等の事務的な連絡が配信されます。
- ・ SULMSの各科目のサイト上で、講義資料と演習教材が配布されます。毎回の授業で必ず確認してください。基本的に紙による資料の配布はありません。課題の提出等も基本的にはSULMS上で行われますが、担当教員の指示に従ってください。
- ・ Microsoft 365の利用のために、大学からアカウントが付与されます。

Microsoft Teamsを通じて、担当教員や補助学生に質問ができ、学習上の様々なサポートを受けることができます。